（日本産業規格Ａ列４番）

様式第２号（表）（第34条関係）

年　　月　　日

稲城消防署長 殿

住　所

申告者　　　職業（職）　　　　　　電話

氏　名

動　産　り　災　申　告　書

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| １ | り災年月日 | 年　　月　　日 | り災物件と申告者との関係 | 所有者・管理者・占有者 |
| り災場所 | 　　　　　　　　　　市　　　　　　　　丁目　　　　　　　番地 |
| ２ | 世帯員 | 氏　　　　名 | 続柄 | 年　齢 | 性　別 | 氏　　　　名 | 続柄 | 年　齢 | 性　別 |
|  |  | 　　歳 | 男・女 |  |  | 　　歳 | 男・女 |
|  |  | 　　歳 | 男・女 |  |  | 　　歳 | 男・女 |
|  |  | 　　歳 | 男・女 |  |  | 　　歳 | 男・女 |
|  |  | 　　歳 | 男・女 |  |  | 　　歳 | 男・女 |
| ３ | 火災保険 | 契約会社名 | 契約年月 | 保険金額（円） |
|  |  |  |
|  |  |  |
| ４ | り　　　災　　　物　　　件 |
| 品　　　　名 | 数量 | り災別 | 損害見積額　又は　購入時価格（円） |
|  |  | 焼損・爆発・その他 |  | （使用　　年） |
|  |  | 焼損・爆発・その他 |  | （使用　　年） |
|  |  | 焼損・爆発・その他 |  | （使用　　年） |
|  |  | 焼損・爆発・その他 |  | （使用　　年） |
|  |  | 焼損・爆発・その他 |  | （使用　　年） |
|  |  | 焼損・爆発・その他 |  | （使用　　年） |
|  |  | 焼損・爆発・その他 |  | （使用　　年） |
|  |  | 焼損・爆発・その他 |  | （使用　　年） |
|  |  | 焼損・爆発・その他 |  | （使用　　年） |

様式第２号（裏）

動産り災申告書記載要領

（１の欄）

り災物件と申告者との関係は，あてはまるものを○で囲んでください。

（３の欄）

１ 火災保険の加入が数社ある場合は，すべて記入してください。

２ 保険金額は，契約会社別に円単位で記入してください。

（４の欄）

１ 品名・数量の欄は，動産の品名ごとに数量を記入してください。

例） 背広３，くつ類30，下着類50，食器類150，本300，化粧品80等

２ り災別の欄は，あてはまるものを○で囲んでください。

（1）焼 損：火災によって焼けた物及び熱によって炭化，溶融，破損したものなど

（2）爆 発：爆発により，壊れたものなど

（3）その他：消火のために受けた水損，破損，汚損など，煙により汚れたものなど，運び出す時に壊れたものなど

３ 損害見積額又は購入時価格の欄は，り災した物件の使用年数等を考慮して，被害の程度により損害額を見積もり，点線の左欄に記入してください。また，損害額が見積もれない場合は，点線の右欄に購入時の価格と (使用 年) 内に使用年数を記入してください。

なお，使用年数は整数とし，１年未満の端数は切り捨てとします。

備 考

１ この申告書は，消防法第34条に基づいて提出を求めるものです。

２ この申告書は，動産のあった建物ごと，世帯ごとに提出してください。

３ この申告書は，り災した日から起算して７日以内に提出してください。

４ あなたに連絡する場合の連絡先の電話がありましたら，その電話番号を記入してくだ

さい。

５ 火災によるり災証明を発行する場合，この申告書が出ていると早く発行することがで

きます。